

奈川県川崎市認定 NPO 法人キーパーソン 21、滋賀県草津市と連携
地域協働型キャリア教育推進事業をスタート

2021 年 7 月 31 日より認定 NPO 法人キーパーソン 21（神奈川県川崎市、代表：朝山あつこ、以下キーパーソン 21）は、滋賀県草津市で認定 NPO 法人くさつ未来プロジェクトと共に地域協働型キャリア教育推進事業をスタートします。地域の大人たちが中学校に行き、子どもたちの主体性を引き出すキャリア教育プログラムを提供します。



左：滋賀県草津市 橋川渉市長
右：認定 NPO 法人キーパーソン 21
代表 朝山あつこ

1、概要と狙い

学校や家庭での教育と併せて、地域社会と連携・協働する新たな教育プログラムとして NPO、企業、大学、行政等から市民サポーターを養成し、サポーターと共に、中学生を対象にキャリア教育プログラムを実施します。

教育を切り口として、NPO、企業、大学、行政など様々な主体と地域住民が連携することで、教育の視点から地域を支える人材を発掘、育てることにつながり、地域コミュニティの活性化を促進します。

2、プログラムの詳細・スケジュール

経済産業省主催「キャリア教育アワード経済産業大臣賞（中小企業部門）」を受賞した、子どもたちのやりたい！を引き出す「夢！発見！プログラム」とは、これまで全国各地で 20 年間、53,266 人(2021/3/31 付)の子どもに提供してきたキャリア教育プログラムです。

地域の大人たちとの出会いの中で、子どもたちが将来の仕事や生き方を考え、本当に大切にしたいことに気づき、主体的に人生を選択して動き出す力を育みます。多数の学校で授業に導入されている教育効果の高いオリジナルのプログラムです。



7/31 「子どものやる気とわくわくエンジンの見つけ方」講演会（キラリエ草津・参加無料）

8/22 市民サポーター(約 20 名)の養成講座（キラリエ草津）

8/26 玉川中学校 2 年生 5 クラス 156 人にキャリア教育プログラムを実施

3、連携の背景

「ふつうの主婦」が見つけた「わくわくエンジン」のかけ方（2017Yahoo!ニュース）に衝撃を受けたくさつ未来プロジェクト堀江氏よりキーパーソン 21 にアプローチをいただき、2017年にキーパーソン 21 と、くさつ未来プロジェクト（以下、KMP）はパートナーシップ提携を結びました。その後、KMP の子どもたちに実践し、自分たちだけではなく、草津市全域の子どもたちに届けたいという堀江氏の想いを受け、キーパーソン 21 朝山と一緒に草津市に提案し、市長・まちづくり協働課・教育委員会の方もわくわくナビゲーター(※)養成講座を体験され、市長の共感を得ました。

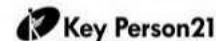
※わくわくナビゲーターとは、プログラムファシリテーター、サポーターのこと

4、草津市内での今後の展望

本プロジェクトを通じて、「自己肯定感が高まり、自分のことが好きになる」「自分のやりたい事に気づく」「将来に向けて自分の生き方を模索するとともに、具体的な展望を持つ」など、自立・自律した子どもたちが滋養に溢れることを目指します。また地域の大人と関わり、活動や経験を増やすことで、子どもたちが地域とのつながりに気づき、地域のつながりが強化されます。



キャリア教育でつながる地域づくり

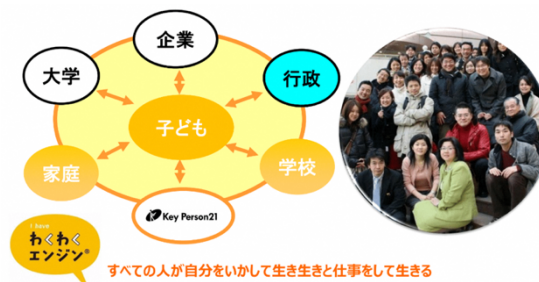


資料

キーパーソン 21 の概要

2000 年に教育 NPO として創設。当初より「集団の教育」から「個への教育」へ、一人ひとりの中にあるわくわくエンジン（自ら動き出さずにはいられない自分だけの原動力）を大切にもう一步踏み込んだキャリア教育「夢！自分！発見プログラム」を 5 万人以上に届けています。第 7 回キャリア教育アワード最優秀賞（経済産業大臣賞）受賞。団体としてグッドガバナンス認証取得（アドバンス認証）。

キーパーソン 21 ではあらゆる大人たちが次世代を育むために一緒になって本気で力を注ぐ社会を目指し、持続可能な地域づくりを行っています。私たちは以下 3 者を重点的に対象とした活動を行っています。



- ・ 親：親子の相互理解を深め、子どものやりたいを引き出すオンラインプログラム
- ・ 学校：先生が生徒のやりたいを引き出すプログラム
- ・ 企業：上司と部下がお互いの意欲の源泉を見出すプログラム

(参考) キーパーソン21の取り組みの強みと独自性



	キーパーソン21の取り組み	他団体、他キャリア教育プログラムの取り組み
大人対子ども	大人1名 対 子ども1名～6名程度。 対話ができる人数ですめることができる。	ほとんどの場合、大人1名対子ども多数。
内容	“自分を知る”ということからはじめるキャリア教育を提供。 プログラムによって自分を知ること、初めて自分の軸を持ってどう社会とつながるか、自分を活かすことを考えることができ、自律に向けて進むようになる。 そのプロセスに貢献できるプログラムがある。	“社会を知る”（職場体験、インターンシップ、職業人講話等）が中心。 経験は積み重なるが、それだけでは自分と社会をつなげにくい。
自分を知る方法	ゲーム形式で、大人と対話をしながら楽しくすすめることができる。 プログラムで使用するワークシートの中の言葉は、本人の内から出てきた言葉のため、納得感がある。 自分を知るプロセスを知ること、主体性が芽生え、自分で考えるきっかけをつかみ、自ら選択し、行動する力が身につくようになる。	適正検査等、テスト形式が中心。あくまでも自己理解をするための補助的なものになりすぎない。 きちんとした大人のフィードバックがなければ、時に本人に違和感をもたらすものになる。
関わる大人について	子どもたちを認める、子どもたちからの言葉、可能性を引き出す等を会得できるよう、ファシリテーションとコーチングの要素を盛り込んだ実践型、アクティブ・ラーニングの手法による事前研修が提供できる。 地域でプログラムを実践できる『わくわくナビゲーター（プログラムのファシリテーター）』が養成される。事前に地域の大人たちに対して研修をすることによって、プログラム中の子どもたちだけの姿でなく、地域で子どもたちを支援する大人にも姿をみることができ、その後の子どもたちを支援する意識が醸成される。 お互いを認め合える温かな関係性が教育を通じた地域に愛着が持てる持続可能な地域づくりにつながる。	もともと持っている大人のリソース頼り。 子どもたちへの対応にばらつきがある可能性がある。

プログラムを通じてあらゆる大人に温かく真剣に向き合ってもらえたという体験は、その先を生きる子どもたちの何よりの励みとなります。子どもも大人も自分自身のわくわくエンジンの発見を通じて、地域の魅力とつながり、こうしてみたいという地域の未来が描けますように、キーパーソン 21 はプログラムを地域のみなさんで運営できる仕組み“わくわくするまちづくりプロジェクト”を提供しております。

代表理事 朝山あつこ略歴

わくわくして動き出さずにいられない原動力「わくわくエンジン®」の発見提唱者。

長男の中学校の学校崩壊がきっかけで、大人も子どもも、自分を活かしていきいきと仕事をして生きていってほしいと願い、2000 年に NPO 設立。

「夢！自分！発見プログラム」を開発し、学校、企業、行政、大学、PTA などと連携し、“一人ひとりのわくわく”から主体的になるキャリア教育を北海道から沖縄まで全国に展開中。これまで、5 万人を超える子どもたちにプログラムを提供してきている。

日経 WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2005」クリエイティブ部門受賞。

神奈川県大学の大学における男女共同参画推進プログラム検討委員や、

企業の CSR 教育プログラムアドバイザー、その他、多数の企業や教員研修を務める。

2017 年 経済産業省主催 キャリア教育アワード 中小企業部門最優秀賞を受賞。

2018 年 内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省の三省連携シンポジウムで基調講演。

2019 年～ 相模原市総合計画審議会委員

著書：「ふつうの主婦が見つけたやる気のエンジンのかけ方」

以上